

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長 東海林 肇

園長だより「かけはし」

あけましておめでとうございます。いよいよ令和6年がスタートしました。毎年担任の先生方は子どもたちに「今年はどうな年にしたい？」などと聞いたりしています。すると「～してみたい!」「～ができるようになりたい!」「～を楽しみたい!」など、口々に、ほのぼのとしたがんばることや目標などを話しています。逆に大人に同じ質問をすると、今に至るまで、数多くの失敗と経験を積んでいるので、出来るなら失敗をしないように考えてしまい、目標も堅実です。なぜなら、失敗した時の精神的苦痛や手間など軽減したいからです。ですからつい自分の子どもには失敗させないように先回りしてしまうことがあります。でも、子どもの成長のためには、失敗を経験させることが大変重要なことで、むしろ、成長には欠かせない要素だと言っても過言ではありません。大人が敷いたレールの上を走らせるだけでは、自ら考える力のない人間、立ち上がれない人間に育つ可能性があります。軽く口にした今年の目標かもしれませんが、自分でどこまで頑張れるかを見守る1年のスタートでもいいかもしれません。失敗をしても、明るく元気に過ごしていければ何よりです。今年も保護者の方のあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。



「たつ年」

唯一、架空の動物である辰（竜）が干支に選ばれた理由は、古代中国では竜が実在すると信じられ人々にとって身近な存在だったからだそうです。そして、この竜の鳴き声は雷や嵐を呼び、天候など自然を支配する巨大な力を持つとされていました。このことから「竜巻」の語源にもなっています。このように神獣や霊獣のような権力の象徴として扱われ、天候をも支配する巨大な力から、辰年は時代を動かす「変革（転機）」や「激動」の年と呼ばれています。変革の年にふさわしく今年も、「新紙幣」の発行が7月3日に決定しました。紙幣に印刷される3人の人物がどのような功績をあげた人なのかみなさんご存じかもしれませんが少し紹介を（自分も知りたいため少し調べました）。

・新1万円札：渋沢栄一（しぶさわ えいいち）・・・幕末に15代将軍となる徳川慶喜に仕え、明治維新後は政府で働きました。その後、日本で最初の銀行である第一国立銀行（現みずほ銀行）を設立し、実業界に身を置きます。第一国立銀行のほか、東京証券取引所、東京ガスやキリンビールなど、設立に関わった企業は500以上といわれています。

・新5千円札：津田梅子（つだ うめこ）・・・政府が欧米に派遣した「岩倉使節団」に加わった最初の女子留学生の1人です。1900年に、私立の女子高等教育機関としては日本で初めての「女子英学塾（現津田塾大学）」を設立しました。

・新千円札：北里柴三郎（きたざと しばさぶろう）・・・ドイツに留学して細菌学者のコッホに師事し、世界で初めて破傷風菌の培養に成功、治療法を開発しました。帰国後も伝染病予防や細菌学の研究に取り組み、1894年にはペストの原因調査のため香港に赴き病原菌であるペスト菌を発見しています。

3人の方について自分も初めて知ることがあり、早く新しいお札を見たい半面、今使っているお札も少し名残惜しいですね。また、新札発行の後は7月26日からパリオリンピックも開催されるのでそちらも今年は楽しみです。